

## 看護管理者支援事業

研修名	看護管理者支援事業 研修	
研修会 開催日時	令和6年 6月25日(火)	9:30～16:00
	令和6年7月2日(火) 7月18日(木) 8月26日(月)	9:00～16:00
	令和6年9月24日(火) 10月21日(月) 11月27日(水)	
研修形態	集合	
受講者数	総数28名(全課程目通して参加 19名) 会員22名 非会員 7名 のべ受講者数:169名	定員 30名
対象	県内病院の看護管理者(認定看護管理者の資格を有しない者)及び事務部長	
ねらい	看護管理を行う上での必要な知識・技術を学ぶ 自施設の現状分析・課題抽出・目標設定・取り組み計画を策定・実行・評価ができる	
講師	プログラム参照	
内容	集合研修5日 演習2日 (内課題解決計画発表含む)	

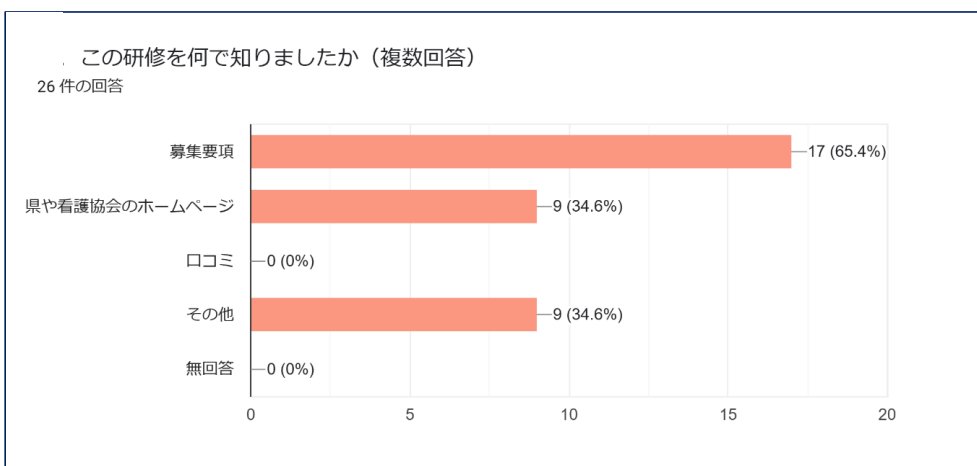
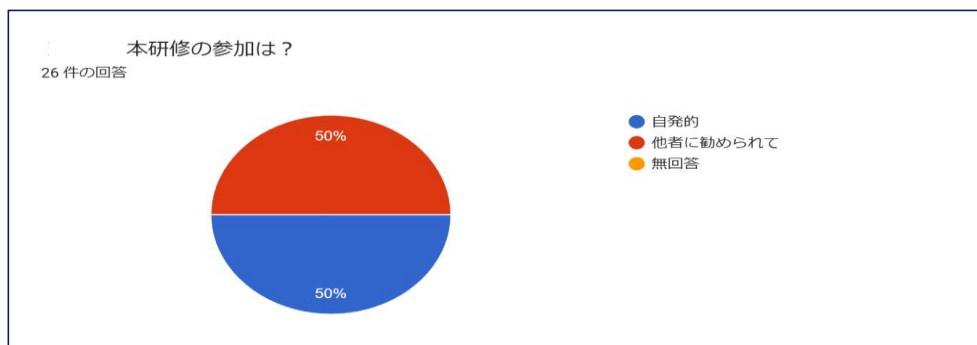
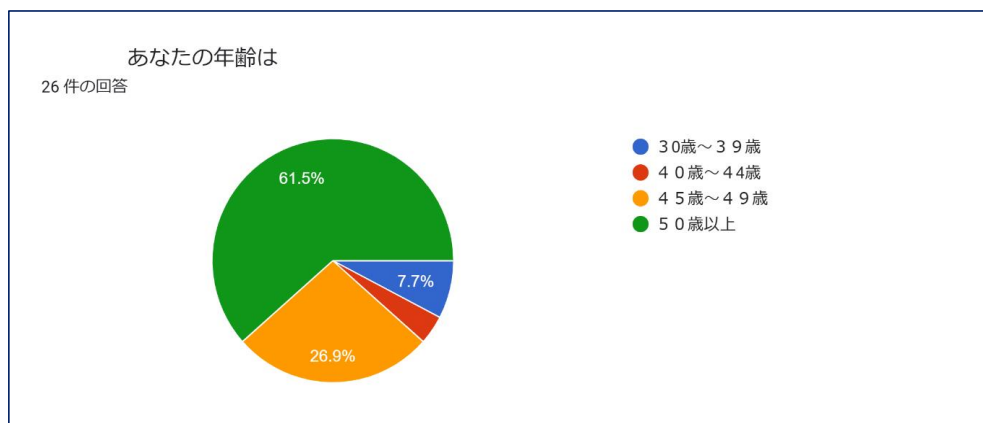
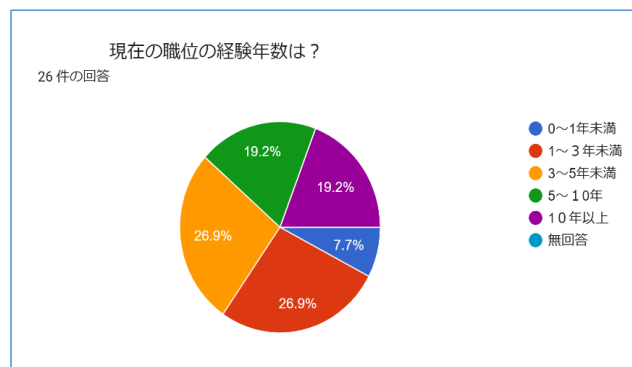
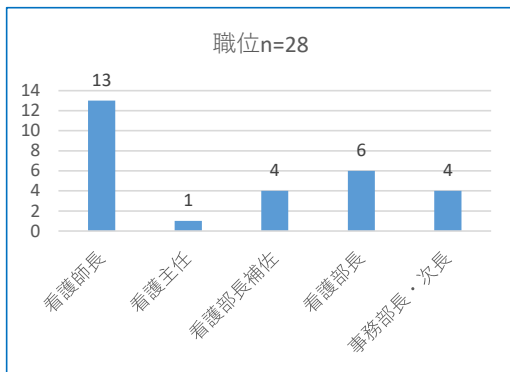
### I プログラム・科目別参加者数

	研修名	日程		内容	講師	参加者数
		日	時間			
組織管理	組織マネジメント・組織デザインと組織運営	6月25日(火)	5時間 30分	組織マネジメントに関する基礎知識・看護管理の基礎知識・組織のデザイン・組織変革・組織運営に必要な能力	東京医療保健大学 副学長 看護学科長 坂本 すが	27
人材管理	労務管理の基礎知識・人材を育てるマネジメント	7月2日(火)	6時間	労働法規・就業規則・健康管理・雇用形態・勤務体制・ワークライフバランス・ハラスメント防止・賃金制度・人事考課・人的資源の活用・リーダーシップの実際	社会医療法人明和会医療福祉センター サステイナブル本部統括主幹 竹中 君夫	25
看護管理における倫理	看護管理における倫理的課題 組織における倫理的課題	7月18日 (木)	1時間 30分	コンプライアンス教育での工夫・価値観の浸透・プロジェクトの鍵・ポジティブアプローチによる看護管理・礼節ビジネスパーソン必須のスキル・DEIB	手島 恵 氏 東京医療保健大学 副学長 研究科長	23
看護制度・政策の動向	看護制度の変遷と政策 制度変化に伴う看護管理への影響と対応		1時間 30分	社会構造の変化・地域医療構想・看護就業者数の推移と課題・看護制度・JNA重点課題・政策提言について	勝又 浜子 氏 日本看護協会 副会長	23
看護管理者が知っておきたい医療経営戦略 ～できる管理者になるための3つの視点～	医療経営の特徴と課題・医療経営戦略の考え方・地域連携戦略		3時間	病院を取り巻く環境変化・病院組織の特徴・病院経営に関する人材問題・経費・戦略・コミュニケーション・地域連携戦略・連携の段階・データマネジメント	斐 英洙 氏 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科/経営管理研究科 特任教授	23
目標管理・問題解決の手法を学ぶ		8月26日(月)	6時間	看護の評価・改善のための情報活用 自施設の分析・課題抽出・目標設定・取組計画の策定	高須久美子 氏 社会医療法人美杉会グループ 理事	25
自施設の分析・課題抽出・目標設定・取り組み計画の策定		9月24日(火)	6時間	アドバイスを受け計画立案	県外アドバイザー5名と 県内アドバイザー10名	26
		10月21日(月)	6時間			県外アドバイザー6名と 県内アドバイザー9名
成果報告		11月27日(水)	6時間	取り組み計画の発表	県外アドバイザー6名と 県内アドバイザー10名	21

## II アンケート結果

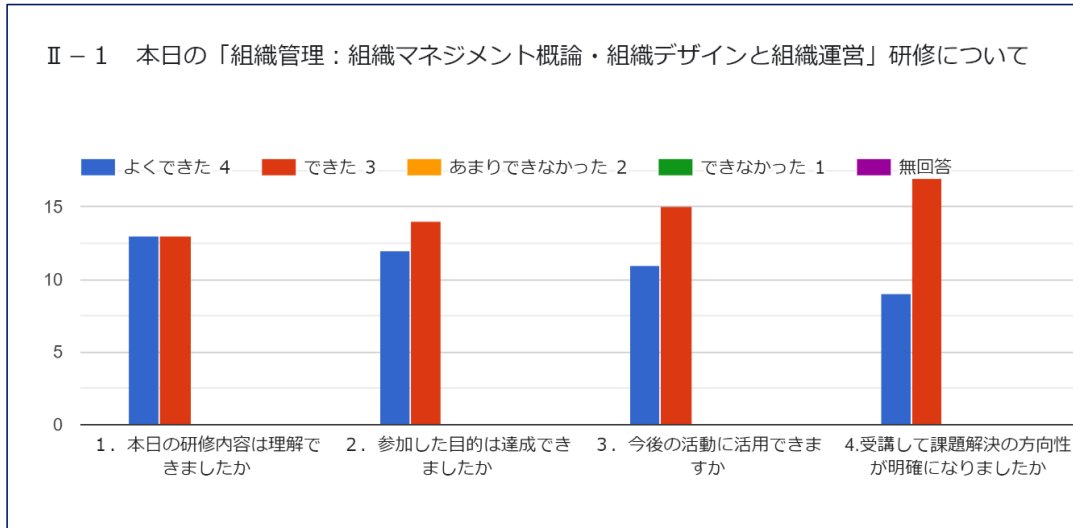
### 受講者背景

参加人数28名



## 1 6月25日坂本すが講師 アンケート結果

参加人数27名 回答数 25名 ※アンケートはGoogleフォームを使用したオンライン上の質問と回答

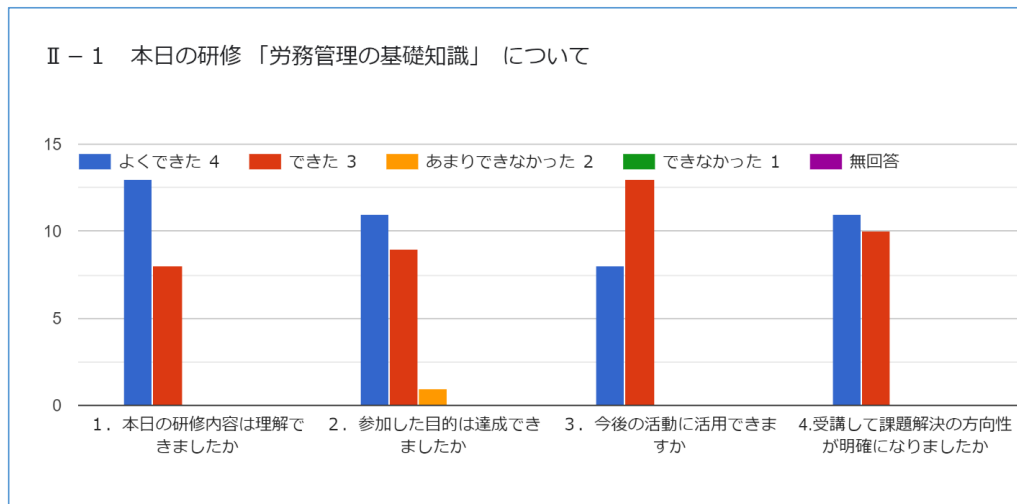


II-2. 上記を選択した理由を記載してください。20件の回答

- ・ 管理のヒントを得られた。
- ・ 日常の業務に参考になる内容ばかりだった。
- ・ やって来た事、考えが間違っていない合致できた事がたくさんあった。
- ・ 管理についての考え方がわかった。
- ・ 管理は、まずスタッフと対話する事が大切だと実感した。
- ・ 考え方の方向性を見直す事ができた。
- ・ 講義の内容は、分かったがまだ、理解までには、至っていない。
- ・ 対話から問題解決の糸口を見出そうと思う。
- ・ 自分の課題に加えて、他病院の課題についても話をきけ、問題解決の糸口になった。まだ具体的にどのようにフィードバックしていくか考慮している。
- ・ いかに自分軸で物事を考えていたのか考えてさせられた。
- ・ 今後、離職防止のために、話を聞く方法など、役立てたいと思った。
- ・ 講義を聞いて問題解決方法を学ぶことができた。グループワークではどこの病院も同じ課題をもっていることがわかり、この研修で知識を深めていきたいと思う。
- ・ 著名な講師の方の講義が聴講できる
- ・ 期待通りだと実感した。
- ・ 良く分かる説明でしたが、実際にその場で対応できるのか、分からない。
- ・ 管理者としてどのようにしたら良いか不安が多かったが、自分のビジョン、目標を考え直す良い機会となった。
- ・ 管理者として、どうあるべきかと自分の事が中心になり、現場で頑張ってくれているスタッフの事が置き去りになっている場面も多くあったのではないかと自分自身の振り返りにもなった。
- ・ 明日から気持ちを一新して頑張ろうと前向きにもなれた。
- ・ 見えていないスタッフの気持ちや本音を聞き出せるように、相手の話を聞く事を最初の一步として、病棟の運営に携わっていこうと思う。
- ・ 他の管理者の方との交流や情報交換ができて良い機会となった。また、今、抱えている課題ヒントも得ることができたと思う。。

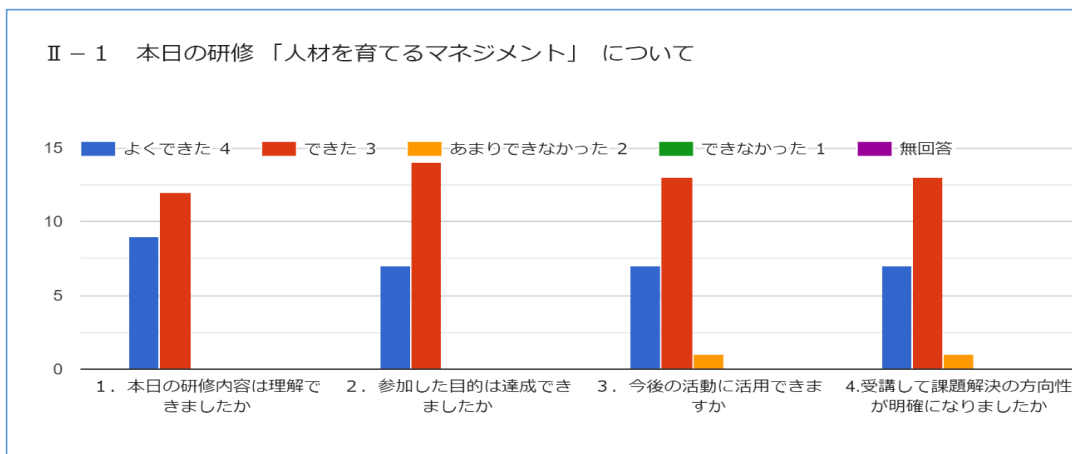
## 2 7月2日(火)竹中君夫講師 アンケート結果

参加人数 25名 回答数 21名



ー 2 上記を選択した理由を記載してください。12件の回答

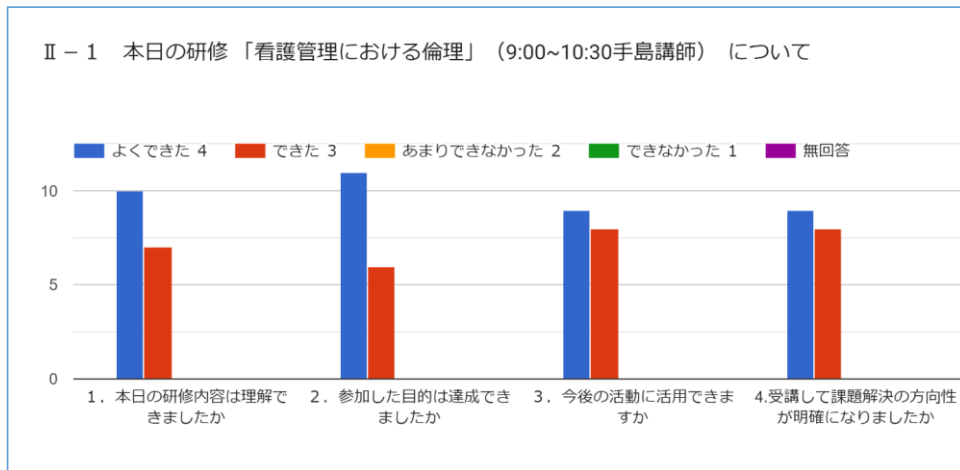
- ・ 基本的なものかと思っていたら、実践的なものだったからわかりやすかった。4件  
楽しく聞くことができた。なるほどと思える事柄があり、参考になる。まだ、明確に課題解決へ導き出せるかはわからないが。
- ・ ストレスチェック集団分析をしっかりと行い、自部署の問題解決に取り組みたいと思う
- ・ 時短勤務者の勤務時間について、選択肢が増えた。また、人事考課の内容について参考になった。
- ・ 働きやすい環境づくりは間違っていないと再認識できた。そして課題も見えた。
- ・ 今まで漠然と実践してきた労務管理について理解することができた。
- ・ とても分かりやすく講義して頂いた。
- ・ 看護師が定着できるように、勤務時間の工夫、夜勤者確保のために一回でもできる人には夜勤してもらおう。
- ・ 現在の勤務体制での改善策に繋がられるヒントがあるように思えた。



- ・ 既に、採用している項目もあった。
- ・ 理解できました。
- ・ 人材を育てる事に、どこに焦点を当てるか参考になった。課題解決は明確に見えていない。
- ・ 子育て支援や人事考課評価など、出来ることからやれる気がする。
- ・ ハラスメントの注意する内容について理解できた
- ・ 人事効果やラダー、昇給、労働法規、メンタルヘルスケア、ハラスメントなど多岐に渡る課題に対処できる示唆が得られた。
- ・ よく聞く「ダメな言葉」があったり、反省する事ばかり。今後の改善点がたくさんあった。
- ・ 何かあれば話ができる環境作りをする。
- ・ 話しを聞く事、話してもらえような場作りをする努力が足りていないと感じた。

### 3 7月18日（木）手島恵講師 アンケート結果

参加人数 23名 回答数 17名

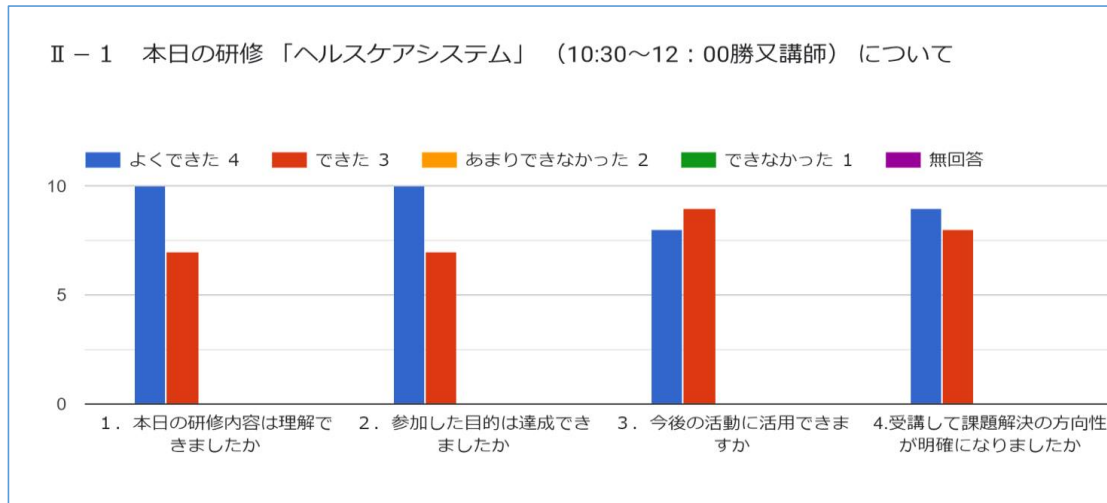


ー2 上記を選択した理由を記載してください。

- ・ 倫理は大変大事であると考えている。スタッフに日頃から学んで欲しい。と思いつつ業務優先になっているのが課題。
- ・ 患者が良いケアを受けるベースには、職員の満足度が高く主導的に働ける環境を整えることが重要であると学ぶことができたため。
- ・ 組織のあり方について、とても参考になった。
- ・ プロジェクトの鍵、これまでからこれから変わったことを学び、看護管理にいかしていく。
- ・ 講義の中の事例を通して、礼節の大切さを実感し、自院でも礼節を取り組んで行きたい。
- ・ 礼節を重んじながら、ポジティブアプローチによる看護管理を実践していきたい。
- ・ 理念やビジョンを明確にし、スタッフ全員で共有すること、患者中心に考えた看護目標をみんなで考え実現できるようにマネジメントして行くことの重要性を学ぶことができた。
- ・ 前年度の病棟目標評価から次年度の目標を考え提示してきていたが、みんなでどのようにしていきたいか考えて目標を決めて行く事がやる気にも繋がり楽しい職場になるという話を聞いて実践してみたいと思った。
- ・ 研究論文の紹介で具体的な内容が学べた。

#### 4 7月18日(木)勝又 浜子講師アンケート

参加人数 23名 回答数 17名

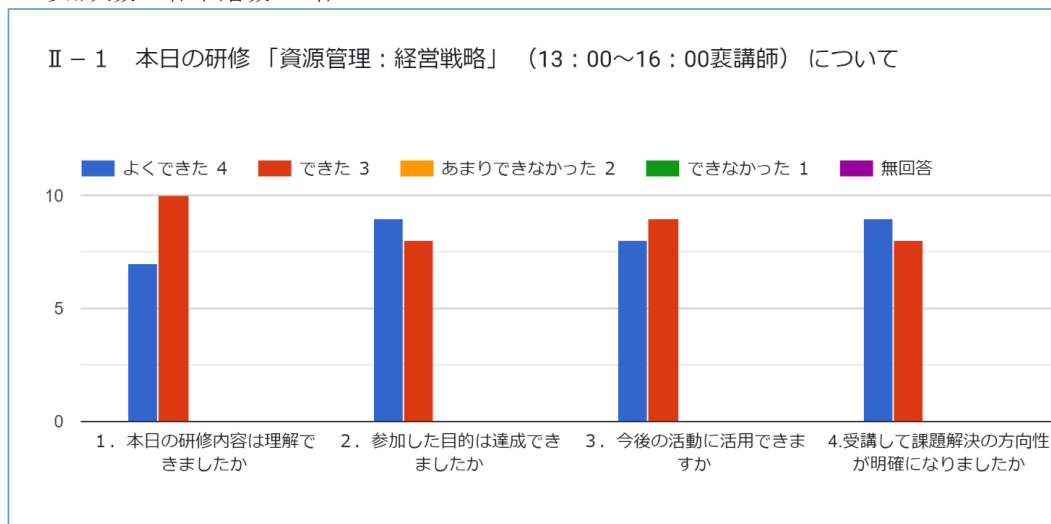


— 2 上記を選択した理由を記載してください。10件の回答

- ・ 短い時間内に多くの課題や考えるヒントになった。
- ・ 今後についての展望を学べ、現在の看護師の処遇に関しても行政や会社に改善をもとめてみようと思いが湧いた。
- ・ 将来の看護職の課題が多いことが実感できました。解決策を考えるヒントになった。
- ・ 分かりやすい講義。問題解決方法など難しいが、少しずつでもできたらと思う。
- ・ 看護師の定着が困難ですが、多様な働き方を取り入れて、看護師確保に繋げたい。
- ・ 看護協会の役員の方々が本当に、苦勞されながらも我々看護師仲間の為に活動していると思った。
- ・ 看護師、介護士不足は否めない現状を踏まえて、タスクシフトシェアに向けて取り組みを継続していきたい。
- ・ 看護制度がどのように作られているのか、日本看護協会の活動等を知ることができました。看護師免許の更新性は、研修機会も増え個々の能力開発や向上につながりいいと思った。
- ・ 看護協会の取り組みや看護師の働き方改革についてどのように活動しているのかを聞いて、私たち管理職だけでなくスタッフにも周知して、協会員を増やしていけたらと思う。
- ・ 政策活動の実際を具体的に教授下さり、2040年問題、2060年問題を目の当たりにして、危機を感じたとともに、早々に対策を考えて行かなければいけないと、感じた。
- ・ 疑問に思っている事が事例として聞く事ができて納得する事が多かった。

## 5 7月18日(木) 英洙講師 アンケート

参加人数23名 回答数 17名

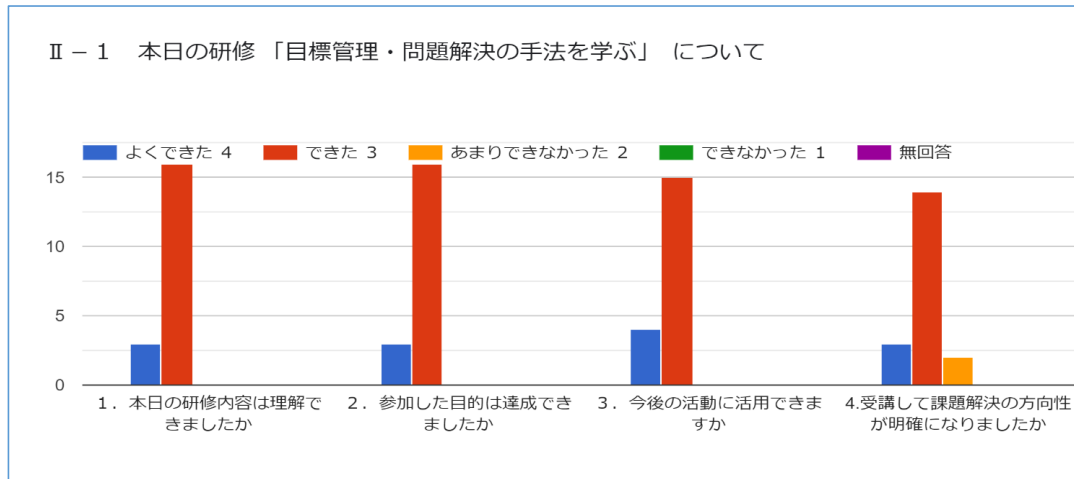


— 2 上記を選択した理由を記載してください。11件の回答

- ・ 師長の立場では少し踏み込むのが難しい課題もあったが、将来に約立つ研修内容。
- ・ 理念や戦略など大きなところから、外部施設へのアプローチなど具体的な話もきけて、非常に参考になった。
- ・ 経営に関して、十分自分なりに理解できてない事を実感しました。理念の浸透する工夫をしようと思いました。
- ・ 具体的な数値での例題で説明があったので、分かりやすかった。
- ・ 勉強になる講義だが、データ等見方が難しい。
- ・ とてもわかりやすく楽しい講義。経営のこと、地域連携室の役割も学べ明日から実践していきたい。
- ・ 自院の強み弱みを理解し経営戦略に活かして行きたい。
- ・ 病院経営幹部の一員として、チーム経営で同じ方向を見てFISを問いながらできる管理者になれるよう努力し
- ・ 医療経営とか経費については、普段そこまで意識していなかったが、大切なことで気づいた。地域連携のコアは院内連携、まずそこから取り組んでいきたい。
- ・ マメなコミュニケーションを取る事や、やる気にさせるマネジメントなど活用できそうなお話を聞いて良かったです。また今まで自院の収益のデータなどは見る機会はなかったのですが、収益構造など経営の事も上司と確認していきたい
- ・ 人材マネジメントについて、具体的に今後の方向性を考えることができた。

6 8月26日(月)高須久美子講師 アンケート

参加人数 24名 回答数 19名

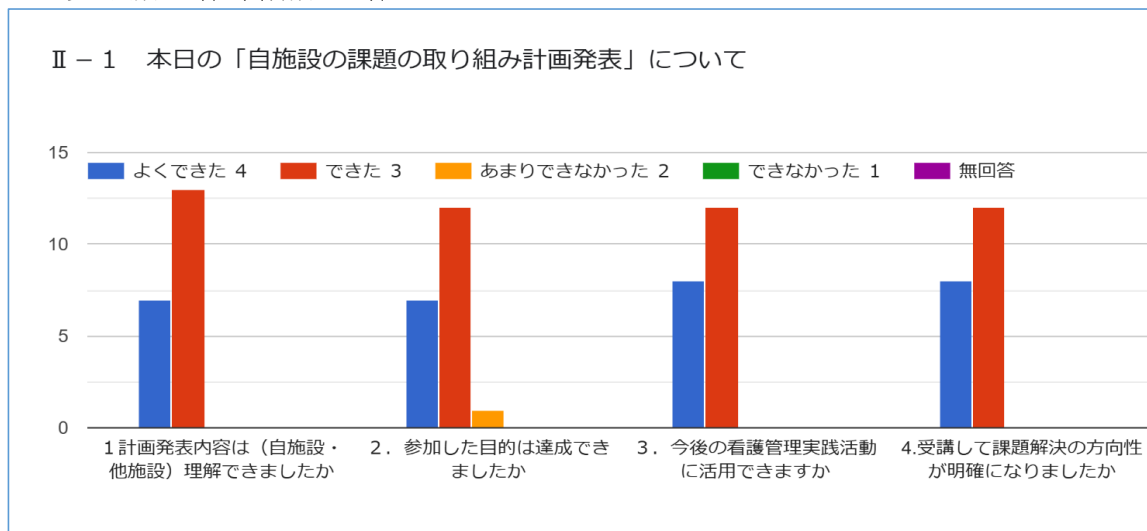


—上記を選択した理由を記載してください。

- ・ 講義内容が難しかったが、困った時に資料に戻ったら糸口が見つかると思った。
- ・ 頭の中ではなんとなくイメージできたが、データで示すことが難しい。アドバイザーの指導をうけながら進めていく。
- ・ 分かりやすかった。
- ・ 課題に対する取り組み方のイメージが出来た。
- ・ 全てを理解して吸収したとは言いきれないが、問題解決に向けては、方向性が見いだせたと思う。
- ・ 目標設定をするためには、データ分析が必要で、目指す姿を常に言葉に表して伝えることを学んだ。
- ・ 今まで漠然と感じていた自病院の問題点の明確化をすることができた。
- ・ 目標をトップダウンではなくスタッフからこうなりたいという意見を聞きみんなで達成するもの。経営の細部までは伝えなくても、患者さんのため、職員のためにできることはたくさんあるなど受講して感。
- ・ 今は今日学んだ事が出来るか、不安が大きい。
- ・ 解決策を上手く導き出せるか、心配。

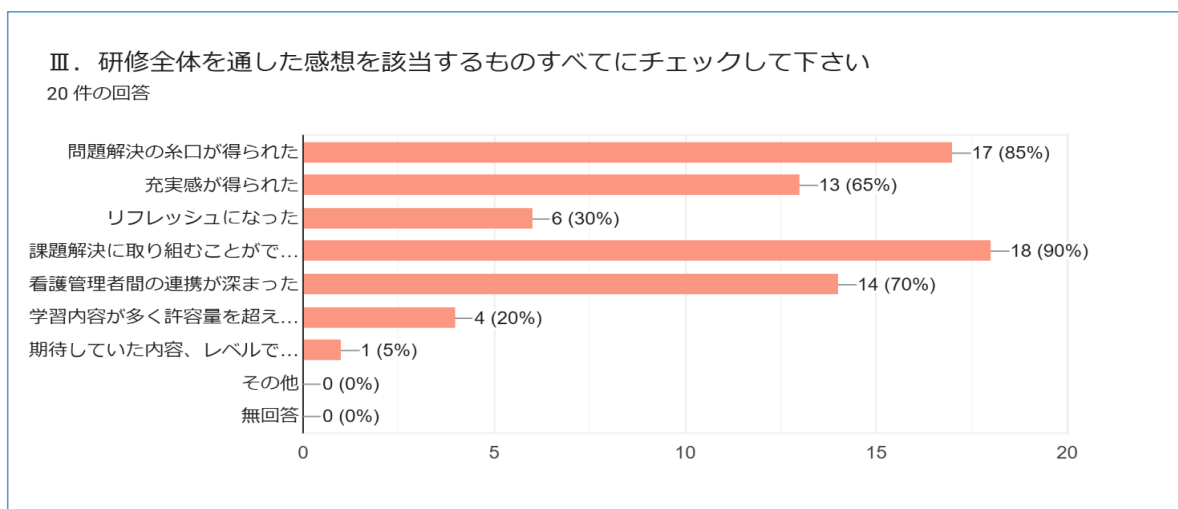
## 7 11月27日(水)取り組み計画発表 アンケート

参加人数 21名 回答数 20名

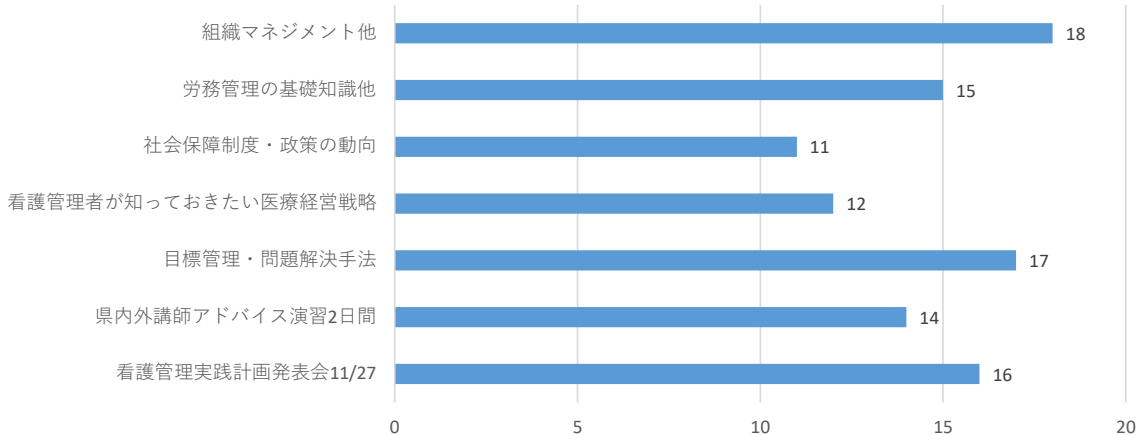


2. 上記を選択した理由を記載してください。11件の回答

- ・いくつかの問題点を分析する中で、なにを優先するべきかの課題がわかった
- ・充分では無いが、少し道筋が見えてきた。
- ・現状把握でき、問題点の糸口が見つかった。
- ・もっとできたのではないかと思うが、やらなくてはいけないことの方向性はしっかりと理解できた。
- ・課題の抽出や目的・目標設定、取り組みまでの考え方など学ぶことができた。
- ・他施設の発表を聞き、同じ様な施設の問題や悩みを持っているため、問題解決の参考になる。
- ・他の方の発表が大変参考になった。
- ・他の病院の皆様の発表を聞いていると、抱えている問題や悩みは共通していることが多くあり、今後、自施設にも参考にさせていただこうと思った。またアドバイザーの先生方のアドバイスを聞いて、看護とは…を再認識出来たし、自分を振り返ることもできた。
- ・計画の作成方法や対策の可視化に難渋したが、県内外のアドバイザーからアドバイスをいただきながら完成することができた。
- ・アドバイスを頂き、改善できそうだ。
- ・根拠を持って、課題を明確化して目的・目標を提示する。今後、組織の中で説明をする際に、他院との比較等のデータも提示する事により検討材料の強みとなる。プレゼンは苦手だが、他院のプレゼンを聞くことにより頑張っていくと思った。



#### IV もっとも参考になったと思う内容(複数回答)



★「看護管理における倫理」手島恵講師の科目は、アンケート項目ぬかり。

感想や意見を自由に記載してください。

- ・多施設の、発表を聞き勉強になった。
- ・県外、県内アドバイザーの指導もあり、何とかできた。多くの学びがあり、今後がんばろうと思う。とても達成感があった。
- ・他施設でも同じような課題があることを知れたと同時に違う角度から取り組みをされていることがあり、参考になった。本日の発表にあたり、アドバイスをくださった県内外アドバイザー、看護協会の皆さまに感謝している。
- ・初めて皆さんの前で発表した事はとてもいい経験であったし各施設も自施設と変わらない問題を抱えている事がわかり頑張ってみようと思った。
- ・研修などスケジュールがタイトで慌ただしく過ぎたような印象。
- ・業務と平行しながら取り組みの資料をまとめることは、とても大変でしたが、それ以上に学びが深まり、課題解決に向けて取り組むための光が見えたような気がする。実際にこれから実践していくとなると、多々迷い立ち止まってしまうこともあると思うが、これからも精進していこうと思った。
- ・研修をきっかけに今後もブラッシュアップしながら継続的に取り組んでいきたい。自部署の事や目標、目的を考えるきっかけにもなった。
- ・ハイレベルな研修で、県内外のアドバイザー様や他施設の管理者さんの方々に支えられてなんとか終える事ができた。今後この研修内容をもって自施設で課題を1つでも改善して行こうと思えた。
- ・アワードと言う初めての取り組みを行う中で、分からない事を短時間でやる事や、理解出来ないままシート作成、パワーポイント作成など、分からない事ばかりでとても苦しい研修だった。
- ・正直なところ、勤務と並行は厳しく。自分の時間がなくて何度も辞めたいと思った。自分の思いを文章にすることが難しく。自分に対して苛立ちがあった。グループの皆やアドバイザーの助言でここまでこれたと思う。
- ・管理者として、マネジメントできる力や経営に関することも考えていかなければいけないのだと思うことのできる研修になった。通常の業務をしながらの色々な課題に、大変な思いもしたが、自分だけでなく他施設の管理者さん達も頑張っていると思ひみになった。
- ・他施設の発表やアドバイザーの先生達のアドバイスを参考に組みんでいく。